

2025年2月6日

屋内設置可能な再エネ蓄電池システムを鹿児島県長島町役場に納入

エナジーウィズ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:吉田誠人)は、株式会社九電工(本社:福岡市南区、代表取締役社長:石橋和幸)を通じて、鹿児島県出水郡長島町(町長:川添健)役場に3.5MWhの再エネ蓄電池システム(以下、蓄電池システム)を納入しました。

この事業は、環境省の「地域レジリエンス・脱炭素化を同時実現する公共施設への自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業(※)」の一環で、「長島町レジリエンス事業」として行われました。

※https://www.env.go.jp/policy/post_170.html

納入された蓄電池システムは、再エネ用サイクル長寿命蓄電池「LL シリーズ」に BMU (Battery Management Unit=電池状態監視装置)を組み合わせたものです。LL シリーズは、優れた安全性を備えており、屋内設置が可能な点が大きな特長です。通常、蓄電池は専用のコンテナに設置されますが、鉛電池の持つ安全性を生かし、今回は長島町役場の未使用屋内スペースを活用して設置されました。

当社の蓄電池によって構成された蓄電池システムは、太陽光発電で得られた電力を有効活用し、夜間などの太陽光発電が機能しない時間帯に蓄電池に貯めた電力を活用し、長島町役場の電力を完全に賄うことができます。これにより、長島町役場はエネルギーコストの削減、CO₂をはじめとする GHG (温室効果ガス)の排出を大幅に削減するとともに、災害時において電力供給が可能となり、レジリエンス強化を実現します。また、当社の LL シリーズはリサイクル性にも優れており、また製造に伴うカーボンフットプリントが小さいため、脱炭素社会の実現にも貢献します。

今後も、当社は革新的なエネルギーソリューションを提供し、顧客のニーズに応える努力を続けていきます。

<蓄電池概要>

電池型式 : 再エネ用サイクル長寿命蓄電池(サイクル用制御弁式鉛蓄電池)LL1500-W 型

電池構成 : 直列数 288 セル、並列数 2 並列、2 セット

公称容量 : 3.5MWh



長島町役場



未使用スペースを活用した屋内設置

以上

エナジーウィズ株式会社は 2021 年 12 月、昭和電工マテリアルズ株式会社（現株式会社レゾナック）の蓄電デバイス・システム事業部門を前身に蓄電池専門メーカーとして事業を開始しました。

当社はこれまで 100 年以上にわたり鉛蓄電池技術を用いて自動車用バッテリー、産業用鉛蓄電池を製造・販売。また鉛蓄電池に限らず、蓄電池の状態を検知する監視装置、緊急時に蓄電池から電力を供給する電源システムなどもラインナップとして事業を展開。今後は蓄電池専門メーカーから「提案型蓄電ソリューション企業」への進化を目指しています。

<https://www.energy-with.com/>

リリースに関するお問合せ

エナジーウィズ株式会社

〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町 3 AKS ビル pr@energy-with.com